

## 平成 29 年第 12 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 平成 29 年 12 月 26 日 (火) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 14 時 45 分
- 3 開催場所 加西市役所 5 階会議室 (大)
- 4 出席者 教 育 長 高 橋 晴 彦  
委 員 内 藤 堯 雄  
委 員 渡 邊 隆 信  
委 員 多 田 久 子  
委 員 沼 澤 郁 美

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	達 可 忠 久
次長兼教育総務課長	内 藤 利 樹
参事兼学校教育課長	本 玉 義 人
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
図書館長	高 井 聡 子
総合教育センター所長	植 田 正 吾
生涯学習課主幹	永 井 信 弘
教育総務課長補佐兼総務係長	民 輪 寛 美

6 付議事項

議案第 4 1 号 平成 30 年度教育の重点の策定について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第 4 1 号 平成 30 年度教育の重点の策定について

教育部長より説明を行う。平成 30 年度の「教育の重点」は、第 2 期加西市教育振興基本計画に基づき策定したものであり、昨年度から大筋の変更はない。加筆修正した各課の施策について、説明する。教育総務課は、南部学校給食センターの移転改築計画による学校給食の 2 センター化。学校教育課は、小学校は平成 32 年、中学校は平成 33 年度から完全実施される新学習指導要領に対応して、「主体的、対話的で深い学び」の視点をいれることを明示したこと。一部実施する道徳の教科化、小学校外国語活動の教科化に向けた重点的な取組。こども未来課は、認定こども園の整備を促進する取組。生涯学習課は、平成 29 年度末に「歴史文化基本構想」を策定するので、歴史文化遺産の包括的な保護活動を進める。

教育委員より、文章の表現について、2 ページの 3 の⑤「実験や観察等の体験的な活動等の」と「等」が 2 回続いているため、体験的な活動の他に活動があるのなら具体的に言葉をいれるか、「等」を削除したらどうかとの意見がある。また、同じく 2 ページの 4 に昨年度は「いじめの防止」について記載があったが、それは、5 ページの 2 「人権」についての欄で記載しているため、削除したのかとの質問がある。

教育部長より、教育委員のいわれたように、文章が重複するため削除したと回答する。

教育委員より、道徳教育については、来年度から小学校は全面实施するため、2 ページの 4 の②「道徳の時間を要とした道徳教育」のところに、かっこ書きで道徳科をいれるなどしたらどうかとの意見がある。

教育部長より、道徳科を併記するような文章に修正すると回答する。

教育委員より、学校組織が、具体的に実戦に向けてどう対応するか、委員会として確認し、把握しておく必要があるとの意見がある。

教育長より、事務局において、いただいた意見の趣旨に沿って、文言を修正し、まとめると回答する。

## 9 議決事項

議案第 4 1 号 平成 30 年度教育の重点の策定について

原案通り可決

## 10 報告事項

### 教育長

この1月間の主な事項、参加行事等について報告する。

#### (1) 11月29日、12月20日 さわやか市民賞授与式

11月29日 九会小学校5年の澤中そらさんが、アートフェスティバル2017 文部科学大臣賞受賞により、市長からさわやか市民賞が授与された。

12月20日 泉小学校6年の岩井なつみさんが、第41回兵庫県小学生陸上競技大会6年生の走り幅跳び第1位、西在田小学校2年の吉田悠真さんが、朝日新聞第32回「WE LOVE トンボ」絵画コンクールで金賞受賞、泉小学校4年の森脇壮志さんが、水辺を美しくする運動啓発ポスターコンクールで知事賞受賞により、市長から授与された。

#### (2) 11月30日 加西市小学校連合音楽会（市民会館文化ホール）

どの学校も素晴らしい演奏、合唱を行った。保護者の方々もたくさん参加頂いた。

#### (3) 12月1日～21日 12月定例議会

12月11日と12日の本会議での質疑・一般質問、12月15日の総務委員会、12月21日の最終日に議案が採決された。教育委員会関係では、北条ならの実こども園の設置に関する関係条例を整理する条例と補正予算があり、全会一致で可決した。

#### (4) 12月5日 社会教育委員会

任期スタートの第1回目の会議ということで、委員長、副委員長の選任と上半期の青少年育成事業について協議いただいている。なお、委員長には田中岐阜聖徳学園大学教授、副委員長には谷勝連合婦人会長が再任された。

#### (5) 12月16日 加西市ネット見守り隊の合同研修会及び啓発運動

NIT情報技術ネットワークの篠原代表より、「子供たちは狙われている、親子で知ろうネットの落とし穴」と題した講演があり、その後、青少年非行防止、健全育成キャンペーンが実施された。

#### (6) 12月2日 発達支援シンポジウム、12月3日 泉少年野球40周年記念大会、12月3日 北播書道展表彰、12月8日 特別支援学校のわかばフェスティバル、12月17日 市民ロードレース大会に参加。

教育委員より、小学校連合音楽会に参加した。こどもたちが、大きな舞台で堂々と自信をもって合唱したり演奏できたのは、日頃から、友達と一緒に練習したり、自分でも努力した成果が表れたものと思い、一生懸命練習している姿を想像しながら聞かせていただいた。一番初めに会場全員で歌った「ビリーブ」は、こどもたちの声がおなかからでて、生き生きとした声ですばらしかった。音楽の時間だけでなく、式の際の校歌も一生懸命に歌っているのだと思う。学級のなかでも、日々の学習のなかでも、自分の考えを表現したり、友達とつながったりすることができているので、みんなで集まったときにも、堂々と表現できるのだと感動し、感心したとの感想がある。

#### こども未来課長

平成30年度入園申込状況について報告する。公立686名、私立649名、合計1,335名の申込があった。教育利用については、園で内定をだしている。保育利用については、1月中に利用調整を行い、入園者の選考を行う。毎年、0.1.2歳の入園希望が増えているため、調整が必要である。西在田幼稚園は、申込者数が少数であったため、休園と決定している。

次に、「加西こども未来フォーラム」の開催について報告する。家庭教育カウンセラーの水野達朗先生に「親が学べば子ども伸びる」と題して講演をしていただく。

教育委員より、申込状況の5歳児の人数は、加西市の住民基本台帳の5歳児の人数と合致しているのかとの質問がある。

こども未来課長より、加西市外の方で、入園を希望している方は人数に入っているが、加西市内の方でも、市外を希望している方は入っていないため、合致はしていないと回答する。

教育委員より、5歳児については、全て幼稚園等に入園する予定で、自宅にいるこどもはいないと考えてよいかとの質問がある。

学校教育課長より、義務教育ではないため、中には少数ではあるが、就園していないこどもがいることは事実であると回答する。

教育委員より、就園していないこどもは、1年生になるために不安な面はないのか、集団の中に入ることができるのか心配である。義務教育ではないため、就園を強制できないが、状況の報告があれば、受け入れをする小学校が対応しやすいのではないかと思うとの意見がある。

教育委員より、西在田幼稚園の休園決定について、具体的な入園希望者数や入園を希望

していた方はその後どうなったのかとの質問がある。

こども未来課長より、入園希望者は2名であった。2年後の統合もあるので、希望人数によらず、地元からは継続の要望もあったが、2名では開園するのは難しいため、地元とも相談して休園を決定している。2名の方は、泉第三保育所、泉幼稚園へ入園する。今回、泉第三保育所の4歳児は12名いて、従来なら、5歳児になる時は、ほとんどの方が幼稚園を希望し、保育所に残ることはなかったが、長くみてもらえる保育所を選択された方が多数となったと回答する。

#### 生涯学習課長

「なつかしの正月あそび」について報告する。1月6日に善防公民館の芝生広場において開催する。公民館に足を運ぶきっかけづくりと地域の世代間交流を図ることを目的に開催し、いろいろな昔遊びを子供たちが体験し、伝承していくイベントである。網引町の獅子舞保存会による獅子舞の出演もある。このイベントは、賀茂・下里地区の社会教育推進員協議会、子供会育成連絡協議会、加西市連合婦人会、JA 兵庫みらい善防支店、北条高校のボランティア学生の協力で実施する。

#### 図書館長

年末年始の休館等について報告する。12月28日から1月4日まで年末年始の休館とし、その対応措置として貸出期間を1週間延長する。本・雑誌は3週間、AV資料は2週間の貸出期間とする。

#### 1 1 協議事項

なし

#### 1 2 教育委員の提案

なし

#### 1 3 今後の予定について

- ・平成30年第1回定例教育委員会 1月29日（月）14:00～1F多目的ホール
- ・平成30年第2回定例教育委員会 2月21日（水）14:00～5F会議室（大）
- ・平成30年第3回定例教育委員会 3月28日（水）14:00～1F多目的ホール

#### 14. その他

教育委員より、最近、いじめ問題について、新聞報道があった。加西市においては、適切に指導をしていただいていることを学校訪問時にも確認しているので、心配はしていない。学校において、事件が発生するということは、何の言い訳もできないことである。うっかり対応をしていなかったでは許されない。組織として、たえず確認する姿勢が大切である。いじめ問題だけでなく、小さな問題も見逃さないように、また、発生しないように、お互いに気を付けながら、子どもたちのための指導を進めてほしいとの意見がある。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

平成 29 年 12 月 26 日

出席者

(出席者署名)